

3.編入学生・転入学生の単位認定・履修について

(1)2回生編入学・転入学の場合

①2回生編入学生・転入学生に適用されるカリキュラムについて

2025年度入学の2回生編入学生・転入学生の皆さんは、「2023カリキュラム」のもとで学修を進めていくことになります。

②2回生編入学生・転入学生の卒業要件

APUを卒業するためには、合計124単位以上を修得し、かつカリキュラムで定められた要件を満たすことが必要です。APU入学前に他大学・短期大学等で修得した30単位が認定された場合は、124単位－30単位＝94単位以上をAPUで修得しなければなりません。

なお、卒業するための要件は、「適用されるカリキュラム」、「入学基準の言語」と「国内学生/国際学生」の区分で、学部ごとに異なります。

自身に該当する卒業要件をAPUアカデミック・オフィスウェブサイトで確認してください。

アジア太平洋学部(APS):

https://www.apu.ac.jp/academic/aps/graduation_requirements/

国際経営学部(APM):

https://www.apu.ac.jp/academic/apm/graduation_requirements/

サステナビリティ観光学部(ST):

https://www.apu.ac.jp/academic/st/graduation_requirements/

③2回生編入学・転入学時の単位認定について

2回生編入学・転入学の場合、APU入学以前の他大学・短期大学等で修得した単位は、**30単位を超えない範囲で単位認定**されます。原則として、共通教養科目分野として一括認定されます。

他大学・短期大学等で修得した単位が30単位以上であっても、上限を超えるものについては、認定されません。

なお、国際経営学部(APM)必修科目は、AACSB・EQUIS・AMBA・EPASいずれかの認証校で修得した場合を除いて、単位認定の対象とはなりません。

また、教職等の資格課程科目については、APUの卒業に必要な単位としての認定はできません。単位認定された科目の成績評価は全て「T(Transfer:認定)」とAPUの成績表に表記されます。

この「T(Transfer:認定)」の成績評価はAPUの通算GPAに影響しません。

④言語教育科目の履修について

[言語教育科目(『英語』『日本語』)の履修について]

2回生編入学生・転入学生は、入学言語基準と反対の言語教育科目(日本語基準学生は英語、英語基準学生は日本語)を決められた単位数以上修得する必要があります。

- ・日本語基準の学生は、英語24単位(スタンダードトラック)または12単位(アドバンストラック)の修得が必要です。
- ・英語基準の学生は、日本語16単位の修得が必要です。
- ・入学時に実施するプレイスメントテストの結果により、履修トラック・履修開始レベルを決定します。必ずテストを受けてください。なお、プレイスメントテストの結果により、履修開始よりも低いレベルの科目は「履修免除」となり、それぞれのレベルにあった科目から学修を始めます。

※日本語が母語であっても、英語基準の学生は必ず日本語プレイスメントテストを受験してください。

[アジア太平洋言語(中国語、韓国語、マレー・インドネシア語、スペイン語、タイ語、ベトナム語)の履修について]

アジア太平洋言語の履修を希望される方は、下記の履修条件を満たしている必要があります。

- ・履修を希望する言語が母語でないこと。
- ・日本語基準学生は「英語初級 A・B」、英語基準学生は「日本語初級Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」を単位修得済み、もしくは履修免除済みであること。

※入学直後のセメスターよりアジア太平洋言語の履修を希望する場合は、上記プレイスメントテストの結果をもとに履修の可否を判断します。

⑤編入学生・転入学生向けガイダンスについて

2回生編入・転入学生の履修上の留意点、単位認定結果確認方法に関するオンデマンド動画が新入生オリエンテーションサイトで公開予定です。履修登録日の前までに必ず視聴してください。

(2)3回生編入学・転入学の場合

①3回生編入学生・転入学生に適用されるカリキュラムについて

2025年度入学の3回生編入学生・転入学生の皆さんは、「2023カリキュラム」のもとで学修を進めていくことになります。

②3回生編入学生・転入学生の卒業要件

APUを卒業するためには、124単位を修得する必要があります。APU入学前に他大学・短期大学等で修得した単位は、62単位を上限に認定されます。62単位が認定された場合は、124単位－62単位＝62単位以上をAPUで修得しなければなりません。

卒業するための要件は、「適用されるカリキュラム」、「入学基準の言語」と「国内学生/国際学生」の区分で、学部ごとに異なります。自身に該当する卒業要件をAPUアカデミック・オフィスウェブサイトを確認してください。

アジア太平洋学部(APS):

https://www.apu.ac.jp/academic/aps/graduation_requirements/

国際経営学部(APM):

https://www.apu.ac.jp/academic/apm/graduation_requirements/

サステナビリティ観光学部(ST):

https://www.apu.ac.jp/academic/st/graduation_requirements/

※卒業要件の内、「必修言語科目の単位を全て修得していること」については、3回生編入学・転入学の場合は適用されません。

③単位認定について

3回生編入学・転入学の場合、APU入学以前の他大学・短期大学等で修得した単位は、事前審査の結果を踏まえて、62単位を超えない範囲で認定されます。

他大学・短期大学等で修得した単位が62単位以上であっても、上限を超えるものについては、認定されません。

また、教職等の資格課程科目については、APUの卒業に必要な単位としての認定はできません。単位認定された科目の成績評価は全て「T(Transfer:認定)」とAPUの成績表に表記されます。この「T(Transfer:認定)」の成績評価はAPUの通算GPAに影響しません。

卒業に必要な単位構造と単位認定

卒業に必要な124単位の内訳として、下表の通り科目分野ごとに必要単位数が定められています。専門教育科目分野での単位認定の状況については、2年間での卒業が困難になることがあります。

〔日本語基準学生の場合〕

科目分野		必要単位数	合計	標準認定単位数
共通教育科目	英語	24単位	124単位以上	24単位
	共通教養科目	16単位		38単位(※)
	言語教育科目および共通教養科目	0単位		
専門教育科目		62単位		
他学部科目		0単位		0単位
要卒集計外科目		0単位		

〔英語基準学生の場合〕

科目分野		必要単位数	合計	標準認定単位数
共通教育科目	日本語	16単位	124単位以上	16単位
	共通教養科目	16単位		46単位(※)
	言語教育科目および共通教養科目	8単位		
専門教育科目		62単位		
他学部科目		0単位		0単位
要卒集計外科目		0単位		

④履修について

〔言語教育科目(『英語』『日本語』)の履修について〕

3回生編入学生・転入学生は、言語教育科目(『英語』『日本語』『アジア太平洋言語(AP言語)』)の履修は必須ではありません。ただし、当該言語教育科目の履修を希望する方については、所定の期日までにアカデミック・オフィスに連絡し、本学が指定する手続きを経た場合、履修を認めることがあります。

〔アジア太平洋言語(中国語、韓国語、マレー・インドネシア語、スペイン語、タイ語、ベトナム語)の履修について〕

入学直後のセメスターよりアジア太平洋言語の履修を希望する場合は、事前の申請が必要です。申請方法、期日は入学許可後にメールでお知らせします。また、履修を希望する言語が母語でないことが条件となります。

〔『学部専門演習科目(ゼミ)』の履修について〕

大学院進学や日本国内での就職を考えている学生は、少人数クラスで提供される学部演習科目(ゼミ)を履修することを勧めます。入学直後のセメスターからゼミの履修を希望する場合は、所定の期日までに申請する必要があります。詳細は下記APUアカデミック・オフィス ウェブサイトを参照してください。

※特にAPS及びSTではゼミは必修科目であるため、必ず申請手続きを行ってください。編入学・転入学の場合の申請期間は在校生と異なるため、申請時点で定員に空きのあるゼミのみへ申請可能であることに予めご留意ください。

APUアカデミック・オフィス ウェブサイトURL <https://www.apu.ac.jp/academic/>
各学部の[専門教育科目]―[演習科目(ゼミ)]―[2023カリキュラム]

※編転入生向けのゼミ新規申請方法については準備が整い次第情報を掲載します。

⑤編入学生・転入学生向けガイダンスについて

3回生編入・転入生向けの履修上の留意点、単位認定結果確認方法等に関するオンデマンド動画が新入生オリエンテーションサイト上で公開される予定です。履修登録日の前までに必ず視聴してください。